平成30年2月21日

研修報告書

氏名：吉岡　正博

所属：京都大学医学部附属病院　腫瘍内科

研修期間：平成29年1月～平成30年3月

研修場所：京都大学医学部附属病院

受講動機：

学生時代より、先天性疾患に興味を持っていました。卒後は消化器内科医として勤務していますが、その中で遺伝性腫瘍にも興味を持つようになり、受講を希望しました。

研修内容：

金曜日午後に隔週で開催される関西遺伝カウンセリング合同カンファレンスへの参加

研修成果：

家族性腫瘍のみならず、専門外の遺伝性疾患に関しても理解を深めることができました。

また、遺伝カウンセリングの実際について知ることができました。遺伝カウンセリングを受けても、実際に遺伝学的検査まで希望されない方が想像していたよりも多くおられ、新鮮な驚きでした。

カンファレンスの最後に行われる講義では、幅広いテーマを取り扱いながら最新の話題もふんだんに盛り込まれており、大変興味深く学ぶことができました。

その他（感想・要望・反省点、等）：

遺伝子診療は新しい知見が次々と報告される分野でもあり、常に知識をアップデートする必要性をこれまで以上に痛感しました。